



平成 21 年 8 月 24 日

各 位

会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
武藤 信一
(コード番号 3099 東証第 1 部)
問合せ先 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ 長
鈴木 康弘
TEL03-5843-5115

三越伊勢丹グループの百貨店事業に係る 組織再編(吸収分割及び新会社設立)のお知らせ

弊社は、本日開催の取締役会において、平成 21 年 10 月 1 日を効力発生日（予定）として、百貨店事業に係るグループ内の組織再編を実施することを決定いたしましたので、お知らせいたします。具体的には、弊社の完全子会社である株式会社伊勢丹（以下「伊勢丹」という。）から、株式会社静岡伊勢丹（以下「静岡伊勢丹」という。）及び株式会社新潟伊勢丹（以下「新潟伊勢丹」という。）に係る経営管理及び営業支援業務（以下「本件事業」という。）に関する権利義務の一部を弊社に承継させる吸収分割（以下「本吸収分割」という。）を行うこと、並びに地域事業準備会社として新会社を設立することを決定いたしました。

本吸収分割は、平成 20 年 11 月 13 日に発表いたしました「三越伊勢丹グループ 3 ヶ年計画（2009-2011 年度）」に基づく弊社グループの最適化の一環として実施するものであり、弊社グループ内再編の全体像につきましてもあわせてお知らせいたします。

なお、本吸収分割は、弊社が完全子会社である伊勢丹との間で行う簡易吸収分割であることから、本吸収分割に係る開示については、開示事項・内容を一部省略して記載しています。

記

I. 組織再編について

1. 組織再編の目的

平成 20 年 11 月 13 日に発表いたしました「三越伊勢丹グループ 3 ヶ年計画（2009-2011 年度）」において、弊社は、平成 23 年春までにグループの最適化を完了し、お客さまのご要望によりお応えできる体制を構築すべく、4 つの重点戦略を設定いたしました。

そのひとつである「店舗体制の再構築」の具体策として、今般、弊社は、平成 21 年 10 月 1 日を期して、伊勢丹から静岡伊勢丹及び新潟伊勢丹に係る経営管理及び営業支援業務の一部を承継して、両社を直接子会社といたします。あわせて、平成 22 年 4 月（予定）に、株式会社三越（以下「三越」という。）から札幌・仙台・名古屋・広島・高松・松山・福岡の各地域の百貨店運営事業を承継すべく、地域事業準備会社として弊社直接出資の新会社 7 社を設立いたします。

これにより、平成 20 年 10 月に弊社と直接の資本関係となった株式会社ジェイアール西日本伊勢丹（以

下「WJRI」という。)、平成 21 年 7 月末に株式会社丸井今井から事業を譲り受けた株式会社札幌丸井今井(以下「札幌丸井今井」という。)及び株式会社函館丸井今井(以下「函館丸井今井」という。)、並びに株式会社岩田屋(以下「岩田屋」という。)の臨時株主総会における承認を経た上で完全子会社化を予定している岩田屋とあわせ、持株会社(弊社)の直下に三越、伊勢丹及び地域事業会社等の百貨店事業会社が並列する組織体制が構築されます。

かかる組織体制のもと、各地域の百貨店事業会社に権限委譲を行い、各地域に最適な意思決定をスピードをもって行うだけでなく、“地域のお客さまに愛される、地域のお客さまにとっての「マイデパートメントストア””となるべく地域に密着した営業体制を構築し、迅速で細やかな営業施策の展開を推進する体制の整備を実現いたします。

また、店舗が併存するエリアについては、営業施策で連携をとりつつ、両店舗のブランドの明確化を行ない、それぞれ特色ある店舗としてお客さまのご期待にお応えすることで、両店が提供できる品揃えの質・幅を広げ、地域のお客さまの満足を高めていきます。あわせて、後方部門の統合による物流費・賃借料の削減、共同取組による経費の有効活用など、単店舗では成し得なかった効率的なエリア運営体制を構築していきます。具体的には、新潟エリアをモデルエリアと位置づけ、先行して両店舗の一体運営化を進め、平成 22 年 4 月(予定)には三越新潟店と本吸収分割によって弊社の直接子会社となる新潟伊勢丹を統合する予定です。そのノウハウを活用して札幌と福岡においても一体運営を進めてまいります。

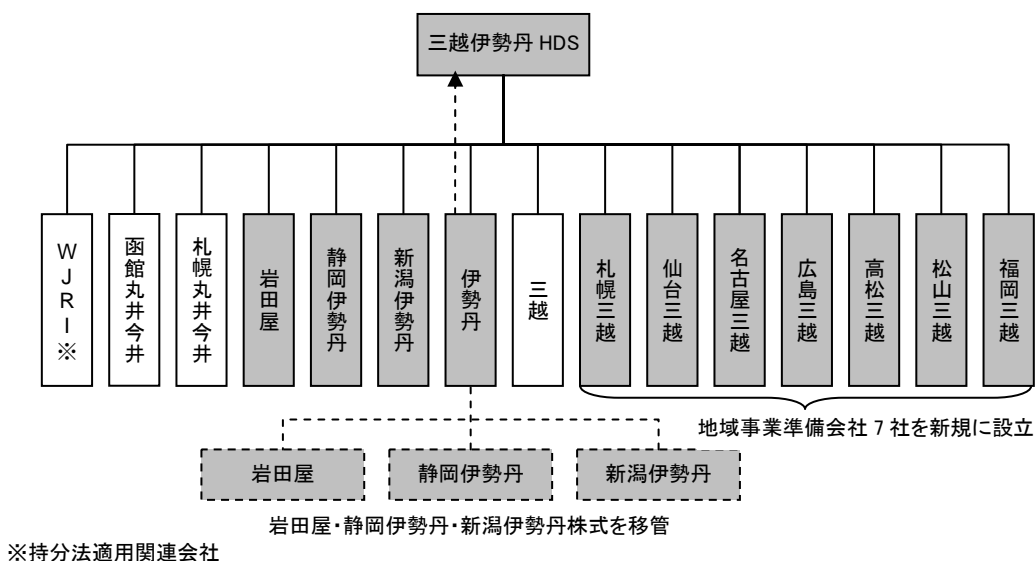
さらに、平成 23 年 4 月(予定)には、営業基盤の整備に向けた組織再編の最終形として、全国百貨店で店舗売上高 1 位、2 位の三越日本橋本店、伊勢丹本店と、世界有数の商業集積地・銀座の三越銀座店の旗艦 3 店を中核とした首都圏の各店舗を擁する、三越及び伊勢丹の両社を統合いたします。

上記により構築された体制のもと、百貨店を中核事業とする経営資源を最大限に生かすことで、お客さま満足度を最大化し、お客さまとの信頼関係を持続的・永続的に維持・向上することを通じて、「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」となることを目指してまいります。

2. 組織再編の今後の全体像

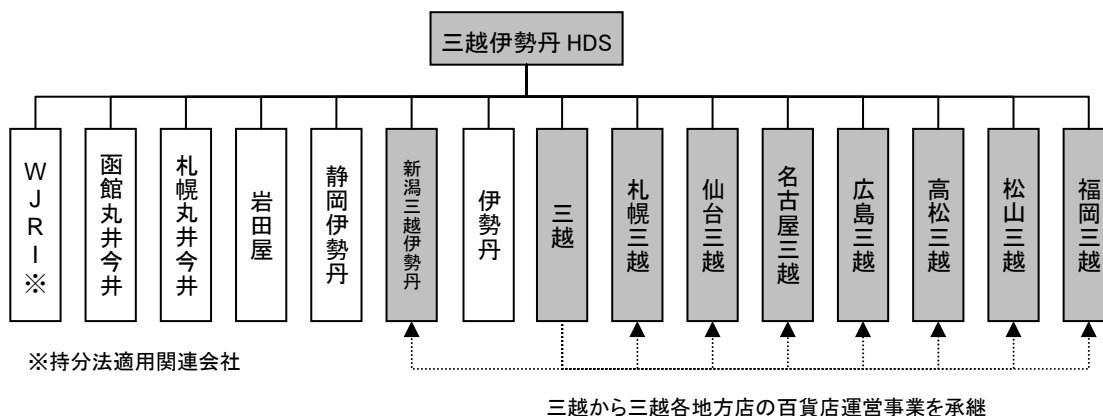
(1)第1ステップ (平成21年10月 (予定))

伊勢丹の保有する岩田屋、静岡伊勢丹、新潟伊勢丹株式を吸収分割により弊社に移管し、これら3社を直接子会社といたします。また、岩田屋の臨時株主総会での承認を経た上で実施する岩田屋との株式交換により同社を完全子会社化します。(岩田屋に係る吸収分割及び株式交換による同社の完全子会社化については、平成21年6月16日に適時開示しております。)あわせて、三越から札幌・仙台・名古屋・広島・高松・松山・福岡の各地域の百貨店運営事業を承継するべく、弊社は地域事業準備会社として新会社7社を設立いたします。



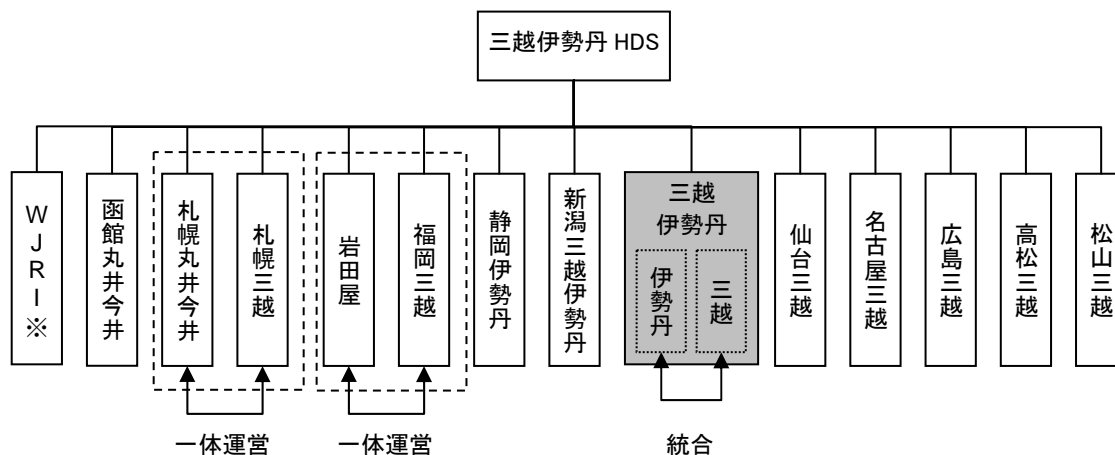
(2)第2ステップ (平成22年4月 (予定))

第1ステップで弊社が設立した地域事業準備会社に対し、三越から札幌・仙台・名古屋・広島・高松・松山・福岡の各地域の百貨店運営事業を承継し、新潟伊勢丹に対し三越から新潟地域の百貨店運営事業を承継いたします。三越と伊勢丹の店舗が併存するエリアについては、新潟エリアをモデルエリアと位置づけ、先行して新潟伊勢丹と三越新潟店との一体運営化を進めております。事業統合後は2つのれんを持つ百貨店事業会社のビジネスモデルを構築してまいります。



(3)第3ステップ

平成23年4月には三越と伊勢丹を統合することを予定しております。また、新潟エリアで蓄積したノウハウを活用し、札幌三越と札幌丸井今井、岩田屋と福岡三越でも一体運営化を進め、効率的な運営体制を構築してまいります。



※持分法適用関連会社

II. 吸収分割について

1. 吸収分割の要旨

(1)吸収分割の日程

吸収分割決議取締役会（弊社）	平成21年8月24日（月）
吸収分割決議取締役会（伊勢丹）	平成21年8月27日（木）（予定）
吸収分割契約書締結（弊社及び伊勢丹）	平成21年8月27日（木）（予定）
吸収分割の予定日（効力発生日）	平成21年10月1日（木）（予定）

(注) 本吸収分割は、会社法第796条第3項の規定に基づき、弊社については簡易吸収分割の手続きにより株主総会による承認を経ずに実施いたします。

また、本吸収分割は、会社法第784条第1項の規定に基づき、伊勢丹については略式吸収分割の手続きにより株主総会による承認を経ずに実施いたします。

(2)分割方式

伊勢丹を分割会社とし、弊社を承継会社とする吸収分割です。

(3)吸収分割に係る割当ての内容

本吸収分割において、分割会社である伊勢丹に対する割当ては行われません。

(4)分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

伊勢丹は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(5)承継により増加する資本金等

該当事項はありません。

(6)承継会社が承継する権利義務

弊社は、吸収分割契約の定めに従って、効力発生日において伊勢丹が本件事業に関して有する静岡伊勢丹及び新潟伊勢丹の株式並びに当該株式に関する権利義務を承継します。

(7)債務履行の見込み

本吸収分割の効力発生日後における弊社及び伊勢丹の債務履行の見込みについては、問題ないものと判断しております。

2. 吸収分割当事会社の概要（平成21年3月31日現在）

(1) 商号	株式会社伊勢丹 (分割会社)	株式会社三越伊勢丹 ホールディングス(承継会社)
(2) 事業内容	百貨店業	百貨店業等の事業を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに附帯または関連する事業
(3) 設立年月日	昭和5年9月30日	平成20年4月1日
(4) 本店所在地	東京都新宿区新宿三丁目14番1号	東京都中央区銀座四丁目6番16号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 武藤 信一(※)	代表取締役会長 兼 最高経営責任者 武藤 信一 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 石塚 邦雄
(6) 資本金	36,763 百万円	50,006 百万円
(7) 発行済株式数	220,356,581 株	387,859,022 株
(8) 純資産	140,179 百万円 (単体)	489,740 百万円 (連結)
(9) 総資産	328,837 百万円 (単体)	1,351,633 百万円 (連結)
(10) 1株当たり純資産	636 円 15 銭 (単体)	1,225 円 85 銭 (連結)
(11) 売上高	432,477 百万円 (単体)	1,426,684 百万円 (連結)
(12) 営業利益	14,697 百万円 (単体)	19,582 百万円 (連結)
(13) 経常利益	27,652 百万円 (単体)	35,052 百万円 (連結)
(14) 当期純利益	10,272 百万円 (単体)	4,683 百万円 (連結)
(15) 1株当たり当期純利益	46 円 62 銭 (単体)	12 円 08 銭 (連結)
(16) 決算期	3月31日	3月31日
(17) 大株主及び持株比率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) 6.25% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 5.16% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口 4G) 4.81% 財団法人三越厚生事業団 3.52% (株)オンワードホールディングス 2.41%

(※) 平成21年6月26日付けで大西洋が代表取締役社長執行役員に就任しております。

3. 承継する事業部門の概要

(1) 承継する部門の事業内容

静岡伊勢丹及び新潟伊勢丹に係る経営管理及び営業支援業務の一部

(2) 承継する資産、負債の項目及び金額

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

資産	
項目	帳簿価額
静岡伊勢丹株式	111 百万円
新潟伊勢丹株式	1,008 百万円
合計	1,120 百万円

4. 吸収分割後の上場会社の状況

(1) 商号	株式会社三越伊勢丹ホールディングス
(2) 事業内容	百貨店業等の事業を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに附帯または関連する事業
(3) 本店所在地	東京都中央区銀座四丁目 6 番 16 号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 兼 最高経営責任者 武藤 信一 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 石塚 邦雄
(5) 資本金	50,006 百万円 (平成 21 年 3 月 31 日現在)
(6) 決算期	3 月 31 日
(7) 今後の見通し	本吸収分割による弊社業績への影響は軽微です。

III. 新会社設立について

1. 新会社の概要 (予定)

(1) 名称	株式会社札幌三越	株式会社仙台三越
(2) 所在地	北海道札幌市中央区南 1 条西三丁目 8 番	宮城県仙台市青葉区一番町四丁目 8 番 15 号
(3) 事業内容	百貨店業	百貨店業
(4) 資本金	5 万円	5 万円
(5) 設立年月日	平成 21 年 10 月 1 日	平成 21 年 10 月 1 日
(6) 大株主及び持株比率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(1) 名称	株式会社名古屋三越	株式会社広島三越
(2) 所在地	愛知県名古屋市中区栄三丁目 5 番 1 号	広島県広島市中区胡町 5 番 1 号
(3) 事業内容	百貨店業	百貨店業
(4) 資本金	5 万円	5 万円
(5) 設立年月日	平成 21 年 10 月 1 日	平成 21 年 10 月 1 日
(6) 大株主及び持株比率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(1) 名 称	株式会社高松三越	株式会社松山三越
(2) 所 在 地	香川県高松市内町7番1号	愛媛県松山市一番町三丁目1番地1号
(3) 事 業 内 容	百貨店業	百貨店業
(4) 資 本 金	5万円	5万円
(5) 設 立 年 月 日	平成21年10月1日	平成21年10月1日
(6) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(1) 名 称	株式会社福岡三越
(2) 所 在 地	福岡県福岡市中央区天神二丁目1番1号
(3) 事 業 内 容	百貨店業
(4) 資 本 金	5万円
(5) 設 立 年 月 日	平成21年10月1日
(6) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

2. 日程

取締役会決議 平成21年8月24日(月)
 設立登記 平成21年10月1日(木) (予定)

3. 今後の見通し

新会社の設立による弊社業績への影響は軽微です。

以上